

# 2021年3月期 決算概況



キャリア実現支援企業

東証JASDAQ : 9696

<https://www.with-us.co.jp>

# 目次

## ウィザスについて

---

ウィザスとは	．．．．．	P. 3
トップメッセージ	．．．．．	P. 4
会社概要	．．．．．	P. 5

## 2021年3月期 決算業績概要（連結）

---

業績の概要	．．．．．	P. 6
-------	-------	------

## 事業別概況

---

事業別業績	．．．．．	P. 11
学習塾事業	．．．．．	P. 14
高校・キャリア支援事業	．．．．．	P. 19
その他	．．．．．	P. 25

## 株主還元・CSR活動

---

株主還元	．．．．．	P. 29
CSR活動等の実施	．．．．．	P. 30

# ウィザスとは – What is “With us” –

ウィザスグループは、学習塾事業、高校・キャリア支援事業、その他（ICT教育・能力開発事業、企業内研修ポータルサイト事業、ランゲージサービス事業、幼児・学童英語事業、ヘルスケア事業）など多様な教育ニーズに対応した幅広い分野での総合教育サービスを提供しております。



## 学習塾事業

幼児から高校生までを対象とする教科学習指導・進学受験指導ならびに能力開発指導と独自の「プラスサイクル学習法」を用いた学力指導を行う「学習塾事業」

(株)ウィザス、(株)フォレスト、(株)佑学社、(株)学習受験社、京大ゼミナール久保塾(株)等



## 高校・キャリア支援事業

広域通信制単位制高等学校の運営や、中学生等を対象とするICTを活用した学校外での学習機会の提供、社会人（高卒以上）を対象とした各種資格・スキル等取得に向けた支援、海外からの留学生を対象にした日本語教育サービス等

(株)ウィザス、(株)エヌ・アイ・エス、(株)Genki Global、(株)ウィザス グローバル ソリューションズ



## その他

WEB上での速読を主体とする各種教育サービス、ICTソリューションサービスを提供するICT教育・能力開発事業、企業向け社員教育コンテンツの開発・販売を行う企業内研修ポータルサイト事業、ランゲージサービス事業、幼児・学童英語事業、ヘルスケア事業等

(株)ウィザス、(株)SRJ、(株)レビックグローバル、(株)吉香、(株)ウィザスイーライフ等

# トップメッセージ

私たちは、ウィザス独自の「プラスサイクル学習法※」の実践を通じ、生徒の「自他肯定感」向上を育むために、一人ひとりの生徒の状況や個性を尊重し、生徒自身が自分を意欲喚起でき、自己成長し続ける力を養える教育をめざして参ります。

※プラスサイクル学習法（P. 14 ご参照）



代表取締役社長  
生駒 富男

## 【経営理念】

### 3つの貢献

#### 顧客への貢献

満足を超えた業務の遂行と  
人間力発揮を通じた貢献

Customer

#### 社員への貢献

社員・スタッフの自己成長と  
真のハッピーを通じた貢献

Employee

Society

#### 社会への貢献

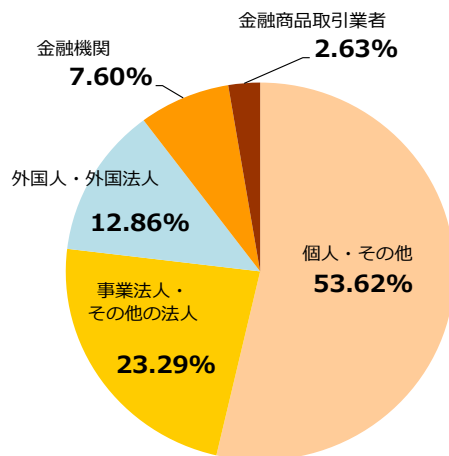
コーポレートビジョンの実現と  
業績向上を通じた貢献

## 【コーポレートビジョン】

“社会で活躍できる人づくり”を実現できる最高の教育機関をめざす

# 会社概要

- **会社名** : 株式会社ウィザス (With us Corporation)
- **設立** : 1976年7月10日
- **資本金** : 1,299百万円
- **本社所在地** : 大阪府中央区備後町3丁目6番2号 KFセンタービル
- **従業員数** : 801名 (男 : 570名 女 : 231名) ※2021年3月末現在 (連結)
- **上場市場** : 東証JASDAQ
- **発行済み株式数** : 10,440,000株 ※2021年3月末現在
- **株主構成** :



(注1) 上記は持ち株比率で表記しております。  
(注2) その他には自己株式を含んでおります。

	株主名 (2021年3月末)	所有株式数(千株)	議決権比率
1	株式会社ヒントアンドヒット	1,053	11.03%
2	ウィザス社員持株会	471	4.94%
3	堀川 直人	467	4.90%
4	堀川 明人	466	4.88%
5	GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	352	3.69%
6	株式会社学研ホールディングス	300	3.14%
7	MSIP CLIENT SECURITIES	271	2.84%
8	NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASH/PB)	268	2.81%
9	株式会社明光ネットワークジャパン	267	2.81%
10	日本生命保険相互会社	249	2.61%

(注1) 上記のほか、自己株式が893千株あります。  
(注2) 議決権比率は自己株式を控除して計算しております。

# 業績の概要（連結）

（単位：百万円）

	2020年3月期 実績		2021年3月期 実績		対前期増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	%
売上高	17,592	–	16,277	–	△ 1,314	△7.5%
売上原価	12,039	68.4%	11,082	68.1%	△ 957	△8.0%
売上総利益	5,552	31.6%	5,195	31.9%	△ 357	△6.4%
販売管理費	4,145	23.6%	4,085	25.1%	△ 59	△1.4%
営業利益	1,407	8.0%	1,110	6.8%	△ 297	△21.1%
経常利益	1,473	8.4%	1,331	8.2%	△ 141	△9.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	325	1.8%	576	3.5%	251	77.3%

## ■売上高 16,277百万円（対前期比△1,314百万円、△7.5%）

- ・ 高校・キャリア支援事業の顧客数増加
- ・ 新規出校4校、増床2校 の設備増強
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休校措置等による  
期初での入会・入学者数減
- ・ 日本語教育・ランゲージサービス事業における留学生の入  
学者数減、インバウンド需要の減少

## ■経常利益 1,331百万円（対前期比△141百万円、△9.6%）

- 経費 15,167百万円（対前期比△1,017百万円、△6.3%）
- 助成金収入 153百万円
- 減損損失 291百万円
- 親会社株主に帰属する当期純利益 576百万円  
（対前期比251百万円増、77.3%増）

## 次期計画（連結）

（単位：百万円）

	2021年3月期 実績		2022年3月期 計画		対前期増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	%
売上高	16,277	－	17,700	－	1,422	8.7%
営業利益	1,110	6.8%	1,500	8.5%	389	35.1%
経常利益	1,331	8.2%	1,600	9.0%	268	20.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	576	3.5%	600	3.4%	23	4.0%

### 主な施策

- ✓ 主力事業のサービス品質向上と、時代に応じた商品の提供や業態開発による顧客サービス力向上
- ✓ ICT活用による全国ネットワーク型の教科学習・各種活動の展開
- ✓ 提携法人との高大連携強化によるオンライン型サポートサービスの充実
- ✓ 資本・業務提携及びM&Aの継続実施による事業領域の拡大
- ✓ 人的資源の確保と養成

## 2021年3月期 決算データハイライト（連結BS）

当連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて58百万円減少し、14,742百万円となりました。

（単位：百万円）

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績
<b>流動資産</b>	<b>7,944</b>	<b>8,240</b>
現金及び預金	6,899	7,191
授業料等未収入金	280	289
その他流動資産	765	760
<b>有形・無形固定資産</b>	<b>3,013</b>	<b>2,546</b>
<b>投資等</b>	<b>3,844</b>	<b>3,955</b>
<b>資産合計</b>	<b>14,801</b>	<b>14,742</b>
<b>流動負債</b>	<b>7,766</b>	<b>7,215</b>
短期借入金・1年内返済予定の長期借入金・1年内償還予定の社債	1,187	179
前受金	4,733	5,400
未払法人税等	378	266
その他流動負債	1,466	1,370
<b>固定負債</b>	<b>2,134</b>	<b>2,178</b>
長期借入金・社債	209	240
その他固定負債	1,925	1,938
<b>純資産合計</b>	<b>4,900</b>	<b>5,348</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>14,801</b>	<b>14,742</b>



# 2021年3月期 決算データハイライト（連結 CF）

（単位：百万円）

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,862	1,807
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 856	△ 348
財務活動によるキャッシュ・フロー	475	△ 1,166
現金及び現金同等物の期末残高	6,780	7,072

## ➤ 営業活動によるキャッシュフロー

18億7百万円

- ・ 税金等調整前当期純利益 10億78百万円
- ・ 前受金の増加 6億67百万円
- ・ 減価償却費 4億37百万円
- ・ 減損損失 2億91百万円
- ・ 法人税等の支払額 △5億92百万円

## ➤ 投資活動によるキャッシュフロー

△3億48百万円

- ・ 有形固定資産の売却による収入 1億71百万円
- ・ 保険積立金の解約による収入 1億54百万円
- ・ 有形固定資産の取得による支出 △1億47百万円
- ・ 無形固定資産の取得による支出 △1億96百万円
- ・ 保険積立金の積立による支出 △3億36百万円

## ➤ 財務活動によるキャッシュフロー

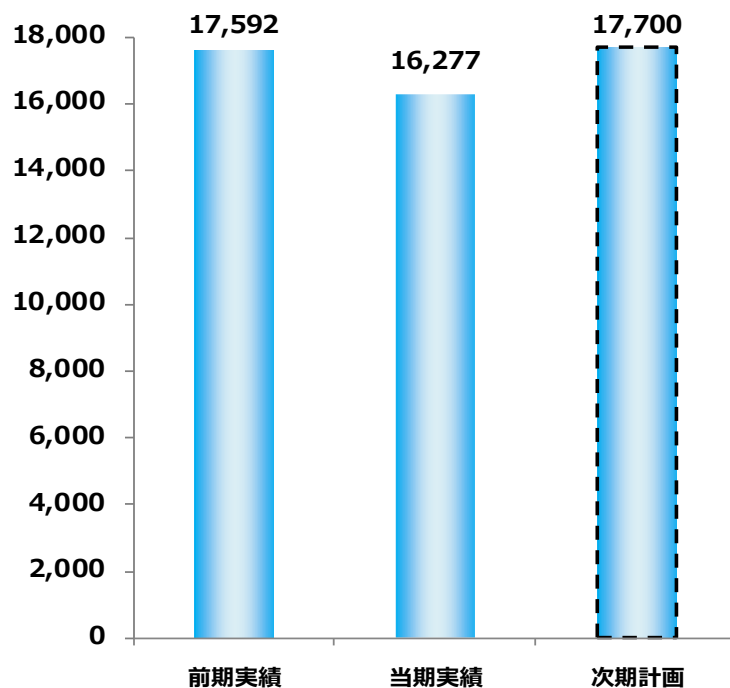
△11億66百万円

- ・ 短期借入れによる収入 22億00百万円
- ・ 長期借入れによる収入 1億20百万円
- ・ 配当金の支払額 △1億51百万円
- ・ 短期借入金の返済による支出 △32億00百万円

# 連結業績推移

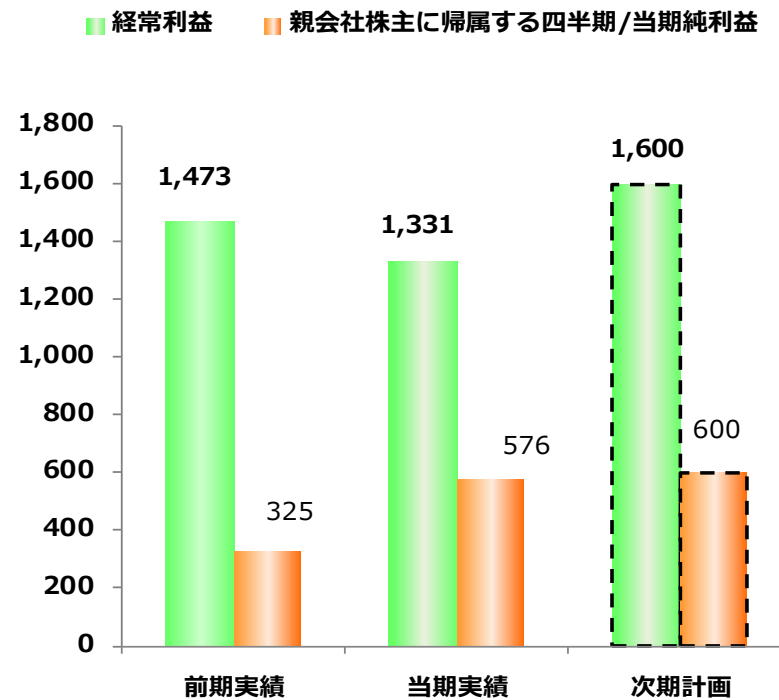
(単位：百万円)

## 売上高



(単位：百万円)

## 経常利益/親会社株主に帰属する 当期純利益



# 事業別業績（連結ベース）

（単位：百万円）

	学習塾事業		高校・キャリア支援事業	
	2020年3月期	2021年3月期	2020年3月期	2021年3月期
売上高	7,445	6,546	6,977	6,875
営業利益	889	462	2,036	2,230

	その他		調整額	
	2020年3月期	2021年3月期	2020年3月期	2021年3月期
売上高	3,169	2,855	-	-
営業利益	△39	△1	△1,478	△1,580

（注）営業利益は本社経費配賦前営業利益となります。

## 全国214校

(2021年3月末現在)

変化する地域ニーズに応じた校舎規模・設備・業態等、環境の最適化を図るため、出店・増床・減床・統廃合を行うことにより、競合力と経営効率を強化しております。

### 新規



第一学院高等学校  
湘南藤沢キャンパス

### 新規



早稲田イーライフ  
河内長野

### 新規



フォレスト  
天満橋教室

### 新規






















ファロス  
伊丹駅前教室



# 事業展開

当社グループは、総合教育サービス企業として、学齢や指導形態等、多様な顧客ニーズに対応するブランド形成を図っております。海外からの留学生を対象とした日本語教育サービスの提供やランゲージサービス事業等、事業領域を積極的にひろげております。

セグメント	会社名/事業	ブランド名	幼児	小学生	対象 中学生	高校生	社会人等
学習塾事業	(株)ウィザス	 第一ゼミナール Daichi Seminar		←→	←→	←→	
		 ファロス個別指導学院		←→	←→	←→	
		 第一ゼミパシード		←→			
		 大学受験 SUR 合格指導会 (シジュール)			←→	←→	
		 MedSUR (メッドシジュール)				←→	←→
	(株)学習受験社	 GAZ (ガゼット)	←→	←→	←→	←→	
	(株)佑学社	 佑学社・大阪教育		←→	←→	←→	
	(株)フォレスト	 国語学習会		←→			
高校・キャリア支援事業	(株)ウィザス	 第一学院 中等部			←→		
		 第一学院高等学校				←→	
		 第一学院高等学校 専攻科					←→
	(株)エヌ・アイ・エス	 ic NAGOYA					←→
	(株)Genki Global	 Genki					←→
	(株)ウィザスグローバルソリューションズ	 With-us Global Solutions					←→
その他	ICT教育・能力開発、 ランゲージサービス、 幼児・学童英語、 企業内研修ポータルサイト、 ヘルスケア、広告等	 SRJ  KIKKO  Blue Dolphins  株式会社ブリーズ  REVIC GLOBAL  e-life					

# 学習塾事業：独自の教育プログラムによる成長支援と顧客満足度の追究

## 生涯“学び続ける礎”を身につける

進学塾として、「成績向上と志望校合格」に全力を注ぐのは当然のこと。我々がめざすのは、それにとどまらない、生徒一人ひとりの未来を見据えた指導です。受験勉強を単なる詰め込みで終わらせず、将来に生きる「自ら意欲的に考え、学ぶ力」、ひいては異文化理解や多文化共生といった、これからの社会で増々必要となる力の源泉を育くむ機会と位置づけ、社会で活躍できる人づくりを推進します。

### 【1】独自の意欲喚起教育

創業以来培ってきた意欲喚起教育を更に進化させ、「社会」や「将来」について知り、未来を「自分ごと」としてとらえ、「将来に向けて、今何を学ぶべきか」という「自己理解」を深めることで、学習意欲の向上につなげていきます。

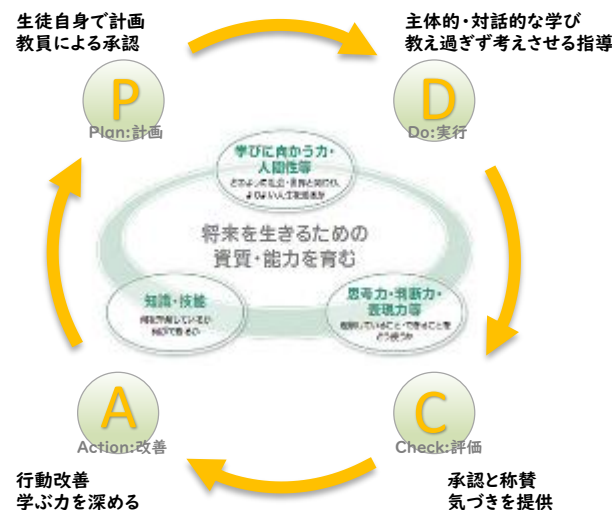


### 【2】プラスサイクル学習法

プラスサイクル学習法とは、当社40年間の指導経験に、最新の脳科学の研究成果を活かした第一ゼミナール独自の教育プログラムです。生徒自身のやる気を引き出して継続させることで、塾でも学校でも家庭でも、主体的に学習に取り組む姿勢を育み、一人ひとりの成績向上・志望校合格をサポートいたします。

### 【3】対話を繰り返し、学びに向かう力を育む

生徒が一人で考えるのではなく、節目で教員や先輩との対話を通じて学びを深め、主体的に課題を解決する力を育むことを重視しています。対話的な学びを深めることで、思考力育成と次の自発的な意欲につながることを、長年の経験からも確信しております。



# 学習塾事業：学び続けるための育成プログラムを体系的に設計

思考力・判断力・表現力など、これからの社会で一層求められる力は、生涯様々な場面で活躍する礎になるものです。低学齢から体系的にプログラムを設計することで、一人ひとりの目的を実現させる力を育みます。

## ■ことばの学校

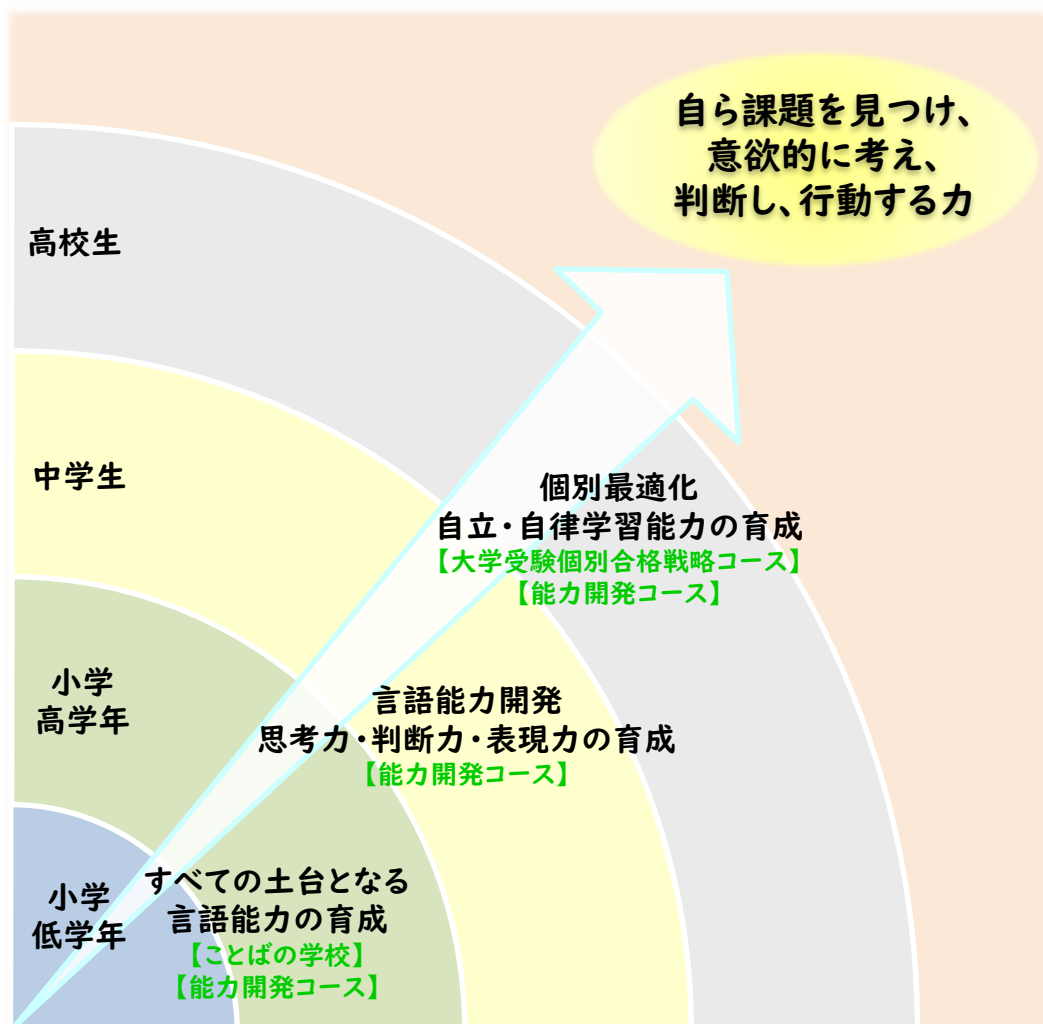
全ての学習の基盤となる「言語能力」に特化して育成を行います。厳選された良書の多読と読書ワーク作成を繰り返し、ことばの運用を生きた表現から学びます。豊かなことばの力を身につけることで、学習面だけでなく生活面でも大きく可能性を広げていきます。

## ■能力開発コース

「読解力」「思考力」「速読力」を中心に同時複合的に育成します。これからの入試は主旨を速く正確に読み解く力が更に重要になってくると考えられ、能力開発コースでは小学校低学年から高校生まで体系的に求められる力を育てていきます。

## ■大学受験個別合格戦略コース

ICTを活用して、学習方略を個別最適化するとともに、専属のチューター講師が、家庭学習も含めた全ての学習時間を把握し、寄り添い、やる気を引き出し、継続させます。これらのサイクルによって成長を実感し、身につけていく自立・自律学習力は、社会に出てからも活躍できる源になると考え、ICTと人の力を合わせて育成に取り組んでおります。





# トピックス：中学生新コース開講、人とICTの力を融合し、主体性を育む

2021年3月、自宅での自主学習支援と5教科個別教科指導を組み合わせ、一人ひとりに個別最適化された学びを提供する「中学生/個別戦略コース」を新しく開講いたしました。主体的に学び続けるための体系的プログラムを一層強化し、これからの社会を力強く生き抜くための力を育んでまいります。

## ■ 将来を見据え、取り組み方を習得する

中学生個別戦略コースでは、主体的に学ぶ姿勢の育成に加え、目標達成に向けて「何を」「どれだけ」「いつまでに」取り組むのか、学び方が学べるようにプログラムされております。

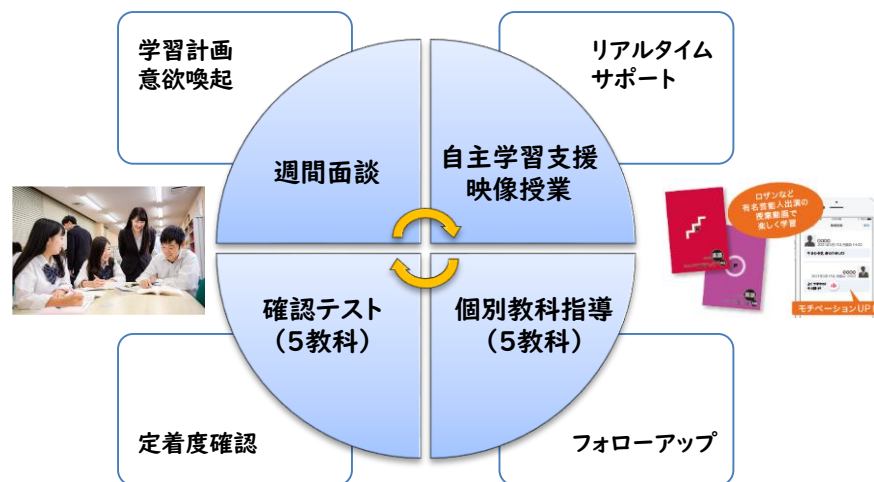
EdTech（教育とテクノロジーの融合）を通して一人ひとりに個別最適化された学びを実現し、高校生以降にも活きる確かな土台をつくりあげていきます。



## ■ 本当に必要な学習を、最短距離で提供

対面指導とICTを活用した学び、それぞれの機能を各プロセスにおいて効果的に組み合わせることで、学びの効率化・最大化と意欲向上につなげます。

塾だけでなく、自宅での学習が主体的に進められるよう学習管理アプリを通じてリアルタイムにアドバイス・称賛、塾・自宅の垣根を越えたサポートにより効率的な学習が可能となります。





# トピックス：活きた英語を身近に体験、英語の「自分ごと化」に結び付ける

戦後最大と呼ばれる大学入試改革において、求められる英語能力は従来の「聞く」「読む」中心から、「書く」「話す」を加えた4技能へとシフトします。社会で活躍できる人づくりを目指す第一ゼミナールでは、「自分の可能性を広げる英語」へと英語の自分ごと化を目指す、独自の英語のプラスサイクル学習法を進めてまいります。

## ■受験に留まらない、使える英語を身につける

2021年度から中学校で全面実施している新学習指導要領では、社会に出てからも学び続ける姿勢や学んだことを将来に活かすことが重要視されています。

第一ゼミナールでは、英語指導においても3つの学びの循環（個人学習→対話的学習→実践）を機能させることで、主体的・自発的な学びを促進しています。高校進学後、その先の大学・社会に出てからも役立つ英語を学ぶ機会を提供し続け、グローバル人材の育成を目指してまいります。

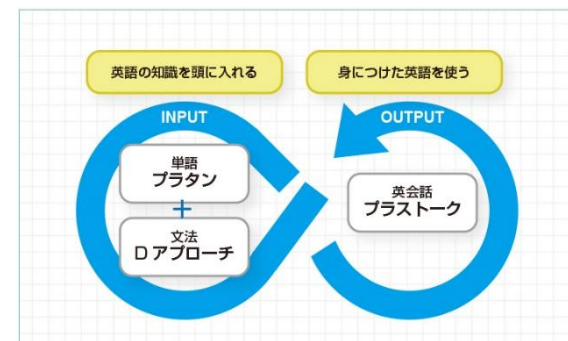


## ■融合型指導で、英語を楽しみながら自然に身につける

英単語を音声でテンポよくリズムカルに覚える「クイックレスポンス」で、掛け算の九九のように口から自然に出るようになるまで反復学習を行います。さらに一斉指導による4技能学習とオンライン英会話によるマンツーマンレッスンを組み合わせ、インプットとアウトプットを連動させることで、学習効果の最大化を図ります。

実践力を自然に楽しみながら鍛える独自の融合型指導を展開し、英語を主体的に学ぶ姿勢を育てております。

### INPUTとOUTPUTが完全連動（単語+文法+英会話）

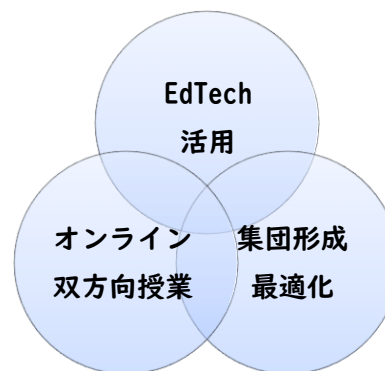


# トピックス：校舎の枠を越えて集団形成、他者と高めあい、学びを深める

学習塾事業では、EdTech（教育とテクノロジーの融合）を活用した学びの自立化と個別最適化を推し進め、一層の成長支援と顧客満足度の追究を図っております。コロナ禍以前より構築してきたオンライン配信の仕組みを基盤として、時間・場所にとらわれず高品質の授業を展開し、一層の意欲喚起・成績向上に努めております。

## ■校舎・クラスを越えて集団形成を最適化

各校舎の学力上位生を中心にクラスを再編成、高効率・高品質のオンライン双方向授業を展開しております。最適な集団形成を行い、普段とは異なる環境下の中で、より他者と高めあう環境をつくり出すとともに、EdTechの活用を組み合わせることで、集団クラスにおいても個別最適化を推進しております。



## ■情報発信もオンライン配信を最大限活用

2021年1月末から3月中旬にかけて、学年層に応じたオンラインイベントを毎週実施し、累計の参加者数は外部含め3,400名に上りました。顧客・社員の安全・安心を第一義に感染症対策を徹底するとともに、必要な情報をタイムリーに発信することで、顧客満足度の更なる向上に努めてまいります。

2021年中学校教科書改訂で何が変わるのか?どのような学びが必要か?

中学校教科書改訂と英語教育改革

A promotional banner for an online event. It features a woman sitting at a desk with a laptop. The text includes '自宅で最新情報入手! 第一ゼミ' and 'オンラインイベント2021'. At the bottom, there are buttons for 'Webにて開催 (ご自宅視聴)', '参加無料', '要予約', and '紹介可'.

### <オンラインイベント 実施例>

大学入試改革・大学入学共通テスト、大学入試分析報告会、公立・私立高校進学ガイダンス、  
中学進学ガイダンス、中学校教科書改訂と英語教育改革、私立中学入試分析報告会

など他にも多数実施。

# 高校・キャリア支援事業：独自のICT教育 日本語教育サービスも展開

## 高校事業

### 第一学院高等学校

構造改革特区の認定を受けた株式会社立の広域通信制高校で、東日本に「高萩本校」、西日本に「養父本校」の2校を設置しております。創立からの「生徒第一」「1/1の教育」の想いを大切に、「未来社会で活躍できる人づくり」に全力で取り組んでおります。

独自のICT教育を推進しており、全生徒を対象にタブレットを使用し、映像・音声による授業配信とともに、レポート作成・提出・進捗管理を一体的に行っております。

#### 設置コース

- 通学型 標準コース、特別進学コース、総合コース、高大一貫コース、特化コース、芸能コース、スポーツコース、eスポーツコース、美容コース、ペットコース、本校通学コース等
- 通信型 Mobile HighSchool（通信コース）



高萩本校（茨城県）



養父本校（兵庫県）

## 日本語教育サービス事業



主にアジア圏からの留学生を対象にした日本語教育サービスを提供しております。国籍・性別・年齢を超えてコミュニケーション能力を上げ、世界的な視野で考え行動できる人材を育成し、地域社会・国際社会に貢献してまいります。



日本語習得を希望するヨーロッパの学生、社会人を対象に、日本語を学ぼうとする一人ひとりの学習者に寄り添いながら、日本語の特質や価値観・習慣・日本文化を伝え、地域交流や様々な体験イベントを通じて、諸外国からの日本理解に貢献してまいります。



日本語教師養成事業で実績のあるアルファ国際学院と共同で、日本語教師の養成校を運営しております。「420時間総合講座理論通信」は、文化庁届出受理講座です。

# 高校・キャリア支援事業：第一学院高等学校の特色ある専門コース

通信制高校としての特色を活かして、生徒の興味・関心に応じた魅力あるコースを展開し、多様なスペシャリスト育成に貢献してまいります。

## 特化コース

デジタルハリウッド大学／デジタルハリウッドと提携。プロの講師陣から実践的に学びます。

ICTスキルやプログラミングなど、これからの時代で一層必要となる力を、プロの講師陣から実践的に学びます。



## 芸能コース

渡辺プロダクショングループの『渡辺高等学院』と提携。

プロ講師から芸能デビューに直結した専門レッスンを受けることができます。



## 美容コース

美容専門学校との提携。美容のプロになるための専門知識（エステやネイル・メイクなど）やプロの技術を実践的に身につけます。



## eスポーツコース

コナミグループ「esports 銀座 school」と提携。ゲームの実技だけでなく、セルフプロデュースやコミュニケーション、動画編集・配信といった幅広いカリキュラムを学びます。



## スポーツコース

安定した実績を誇るサッカー部に加え、2020年4月にはスノーボード部・スケートボード部を新設。文武両道のアスリートを育成します。



## ペットコース

ペットに関する分野で活躍するために、ペット業界のビジネスからペットの美容・健康に関することまで、幅広い専門知識を身につけます。



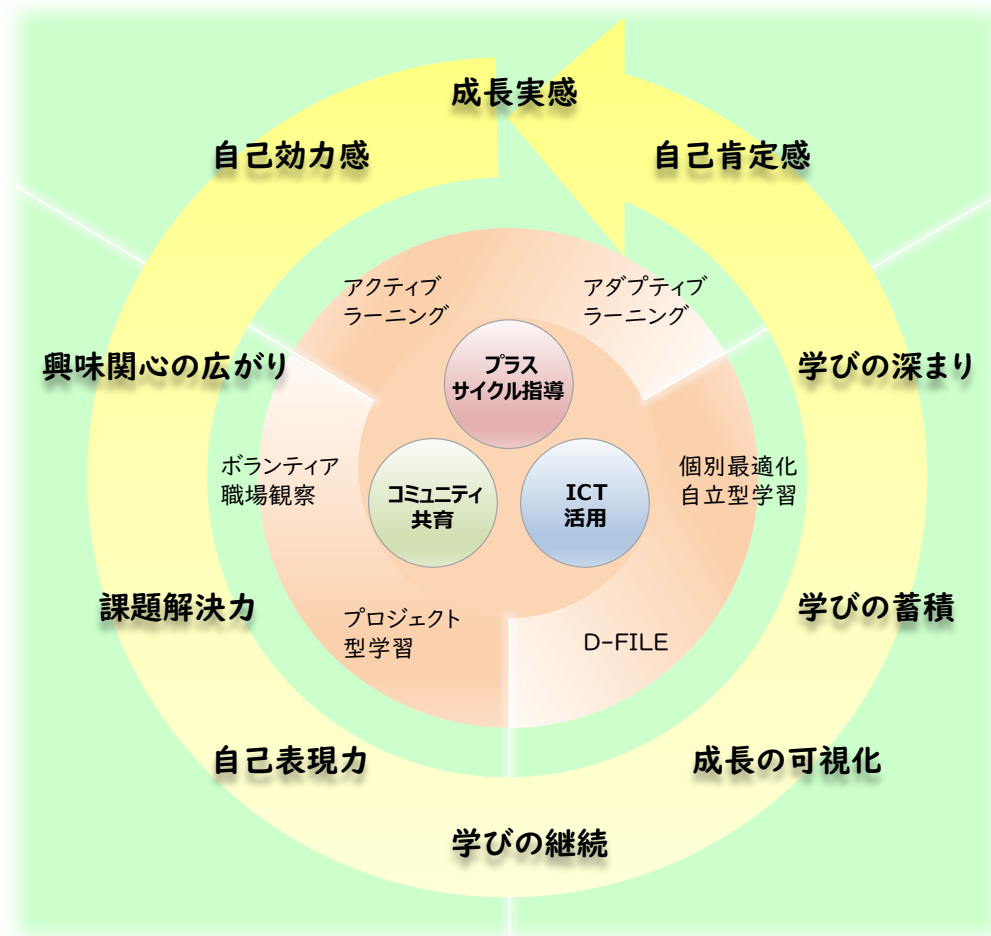


# 高校・キャリア支援事業：自発的な成長を促し、可能性をひろげる

第一学院では、プラスサイクル指導、コミュニティ共育、ICTの活用を中心に、生徒の成長度No. 1の教育機関であることを目指しています。3分野の観点を複合的に作用させる独自の教育モデルを構築しており、提携法人ならびにグループ内外の協業を更に強め、新たな教育価値の提供に取り組んでいます。

## 生徒の成長を複合的に引き出す取り組み

教科学習面ではもちろんのこと、地域社会との関わりの中で学ぶコミュニティ共育においてもICT技術を活用し、成長の可視化を行うことで意欲喚起に繋がっています。それぞれの手法を様々な教育場面で複合的に提供していくことで、生徒の成長を加速させていきます。



# 高校・キャリア支援事業：成長を可視化し、自信を深め、主体的な行動へ繋げる

いままでは見えづらかった「成長の実感と実績」を、いつでも目に見えるようにすることで、感じやすくしております。「デジタル自分未来史ファイル（D-FILE）」では、第一学院オリジナルの「成長度 MAP®アプリ」、そして「Feelnote」の2つの仕組みを使い、日々の記録を行います。学校生活の中で蓄積される一人ひとりの記録を振り返り、周囲からのフィードバックを通して気づきを広げ、深め、更なる成長を引き出していきます。

## ■ 成長度MAP®アプリ

生徒一人ひとりの成長の記録となる、第一学院のオリジナル教材。生活面や学習面での自分の「今」をアプリに記録し“見える化”することで、変遷に気づきやすくしています。振り返りの機会に他者とも共有し、成長を引き出します。

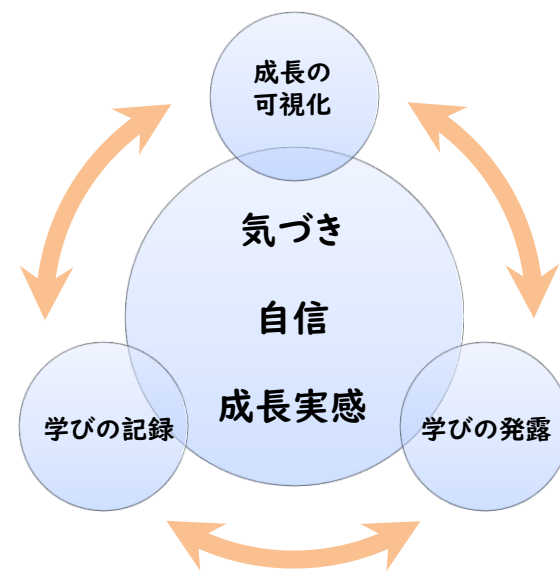


## ■ Feelnote

SNS型ポートフォリオ作成支援システムのFeelnoteを活用して、学んだ証と課外活動での成果物などをデータで記録・蓄積していきます。教員から活動の記録に対して随時フィードバックを行うことで、一つひとつのプロセスに意味づけを行っていきます。

## ■ 成長実感発表会

自分が学校生活で取り組んだこと、力を入れたことをテーマに設定し、プレゼンテーションや資料展示など自分で選択した方法で学びの成果を発表します。伝えることで活動の総括を行い、次の行動への原動力を生み出しています。



# トピックス：全国のキャンパス・本校で「成長実感発表会」を開催

日本の高校生が「私は他の人々に劣らず価値のある人間である」と答えた割合は50.4%(※)。日本の学生は、他国(アメリカ・中国・韓国)に比べ、自己肯定感が低いことが特徴です。第一学院に通う生徒の中には、何らかの挫折を経験し、自分に自信が持てない生徒が多数在籍しています。成長実感発表会は、日々の生活で感じる「成長実感」を自信に変えて様々なことにチャレンジしていくための、第一学院の特色ある取り組みの一つです。

※国立青少年教育振興機構「高校生の留学に関する意識調査報告書-日本・中国・韓国の比較-」2019年発表

## ■ 一連のサイクルを通して成長を積み重ねる

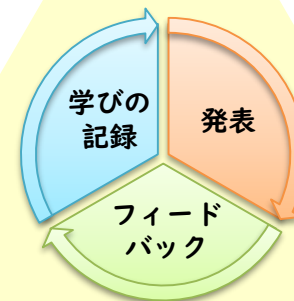
2月・3月にかけて、全国のキャンパス・本校で後期成長実感発表会を実施しました。テーマの設定から発表に至るまでの過程、当日の発信、そして周りの方々からのフィードバックにより、自己の成長を実感します。発表会終了後はFeelnoteに学びの記録を蓄積、新たな気づきを得ることで更なる成長へと繋げていきます。

### 各キャンパス発表事例

- 「SDGs 17のゴールを解決する企画」
- 「災害が起きた時、私たちはどうすればいいのか」
- 「今年度を振り返り、自身が成長したと感ずること」
- 「フードロスと食育」
- 「WITHコロナにおける美容に関する関心の変化」
- 「山村留学について」

など、全国のキャンパス・本校で多種多様な発表が行われました。

### 自信 新たなチャレンジ



### 学びの深まり 成長実感



### 活動の総括 他者からの学び

# トピックス：今期新たに開始した取り組み内容

第一学院では生徒の適性や将来設計を重視し、生徒一人ひとりの「将来の自己像」を明確にし、その実現のための指導と支援を重点教育目標としております。多様な価値観に触れることで、キャリア形成の一助となるよう、今後も各種取り組みを推し進めてまいります。

## eスポーツコース新設（2020年4月）



「esports 銀座 school」（運営・（株）コナミデジタルエンタテインメント）と業務提携し、2020年4月より「eスポーツコース」を開講しています。最先端のノウハウを生かした実践的な学び、周りとの関係性を大事にする「人間力」、自己表現力などともに、高校卒業に向けた各教科の学習もサポートします。

## Now Do株式会社と業務提携（2020年10月）



オンライン  
ソーシャルスクール



コミュニティ共育

プロサッカー選手の本田圭佑氏が代表を務める Now Do株式会社と業務提携を締結。Now Doが提供する、学校教育内だけでは出会えない様々な業界・分野の第一線で活躍されている方々の講義を第一学院の学習に組み込み、多くの高校生に多様な価値観を提供し、時代の変化に対応できる人づくりを目指します。

## 泰北高校（台湾 台北市）と業務提携（2021年1月）



台北市私立泰北高校と「台日ダブルディグリーコース」における業務提携を締結。泰北高校生が台日両校の高校卒業資格を同時取得できる先進的な取り組みを行うとともに、第一学院をはじめとするグループ内生徒・教職員の人材交流、文化交流等を通じて、国際社会で活躍できる人材の育成を一層推進いたします。



## その他 ICT教育・能力開発事業

ICT教育・能力開発事業では、小学生から社会人までの幅広い年齢層を対象に、自立学習型能力開発プラットフォーム「TERRACE」等を制作・販売しております。さらにICT教育ソリューション・サービス事業として学習塾・学校の講座運営にあわせて、ベストなICT教育環境の導入から環境支援、運用支援をワンストップサービスで提供しております。

### 言語能力を育む自立学習システム



「TERRACE」の講座の一つである「速読解・思考力講座」は、全国の学習塾や学校等、約2,200教室で導入されています。「TERRACE」では、20年以上培ったノウハウをもとに設計された速読トレーニングをベースに、近年注目されている「読解力」「思考力」「速読力」を一つのアプリ内で総合的に学ぶことができます。また、速く正確に読む・聴く力を鍛える「速読聴英語講座」（約1,300教室で導入）や、物事の本質を考え、情報編集力を養うアクティブラーニング授業を展開する「表現力コースよのなか科」、「社会人速読」にも展開をひろげ、今後の社会で求められる力を体系的に育てまいります。



2020年度の「TERRACE」は、速読解力・思考力・表現力各コースのリリースに続き、TERRACEを活用した新時代の教育を考える機会を創出する定例研修会イベントも積極的行ってきました。コロナ禍の影響によりICT教育の需要は高まりを見せ、1月に実施された大学入学共通テストでは、全体を通じて分量が大幅に増加し、高い情報処理能力が求められました。ICT教育・能力開発事業では、日本のICT教育事業の成長に貢献し、受講生の能力向上に向けた様々なニーズに応えられる教育サービスの提供に努めてまいります。



## その他 企業内研修ポータルサイト事業

三井住友銀行をはじめとするメガバンクやメガ損保、国内自動車メーカー等の大手製造業、SGホールディングスグループ等の大企業における社員研修や営業研修等の法人向けオンライン教育サービスを提供しております。社内教育・研修を最適化する学習ポータルの運営から、eラーニング教材の開発・販売、ナレッジ継承による人材育成・開発を行っております。

### 社内教育システム構築サービスの提供



#### ■ SmartSkill Campus

グローバル対応の多機能学習管理システムと豊富なコンテンツを組み合わせた自律型人材育成を核としたLMSです。学習者側の立場に立ち「どうすれば社会人が学びたくなるか？」を焦点にシステム化されており、上司や人事が、社員の能力要件や学習状況をフォロー出来る環境を用意します。



### グループ共通教育を実現

#### ■ 事例紹介

大手金融機関A社様ではグループ会社含めた数万名規模の教育を展開し、グループ横断的な教育施策に加え、グループ会社様固有の教育も実施し、ご活用いただいております。教育のポータルサイトとして、グループ全体・各社で実施される研修、人材育成を行うほか、ダイバーシティ/両立支援（出産・育児・介護）の情報を集約。自律的な成長とキャリアを形成するために、必要な情報など取得・共有できる環境を整備することで効果的・効率的な人材育成を実現されています。



## その他 ランゲージサービス事業

株式会社吉香では、世界90言語にのぼる多様な通訳・翻訳業務、24時間体制での国際報道サポート等、独自性の高い事業運営を手掛けるとともに、語学力の高いスペシャリストを派遣し、語学教育や社内通訳等の高度人材サービスを展開しております。



### <事例紹介>

#### 文化財団主催の東京オリンピック、 パラリンピック関連会合での日英逐次通訳

2021年開催予定の東京オリンピック、パラリンピックに向けての文化財団主催の会合で、英語⇔日本語の逐次通訳を担当いたしました。日本の大臣クラスや海外からのゲストなど、クールジャパンにかかわる文化人・知識人の方々のメッセージの授受を円滑に行いました。

#### eスポーツ国際交流イベントにて、 オンライン通訳を実施

国内4自治体およびオランダ大使館によるeスポーツ対戦が行われ、オンライン通訳を担当いたしました。ゲームはいまやオンラインが当たり前ですが、通訳もこの一年でオンライン化が急速に進んでおります。

#### オンライン会議リモート同時通訳サービス

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、テレワークが世界中で推奨される中、海外と遠隔で結んだオンライン会議の需要は日々増しております。吉香では社内にリモート同時通訳の特設ブースを設置しており、オンライン会議での通訳ニーズに対応しております。



## その他 幼児・学童英語事業

英語で学ぶ。英語をみかく。



### プリスクール（2歳～小学生）

#### イマージョン教育による自然な英語習得

ブルードルフィنزでは、英語圏の子どもたちが言葉を学ぶのと同じように、遊びや生活を英語で行う、イマージョン教育を行っています。

英語を浴びるように聞き、学び、発音してみることで、自然に英語を身につけることができます。



### アフタースクール（5歳～小学生）

#### 1日最大6時間、英語で過ごす学童保育

日常で使える英語指導だけでなく、英検受験サポート体制も充実しています。アフタースクール（学童保育）として宿題もサポート。

イマージョン教育やブルードルフィنزオリジナルのカリキュラムで世界の文化を学びながら、コミュニケーション能力と「聞く、話す、読む、書く」の4つの英語スキルをブラッシュアップすることができます。





## 株主還元

当社は株主の皆様に対する利益還元を最重要課題のひとつと考えております。利益配分の基本方針としては、将来における企業成長と経営環境の変化に対応するための投資や強固な財務体質構築に資する内部留保金を確保しつつ、継続的な配当による株主の皆様への利益還元を積極的に行い、安定配当に主眼をおいた考え方を取っております。

次期の1株当たり配当金につきましては、増収増益での通期見通しに加えまして、前期創業45周年の節目でもあったことから、2円増配とさせて頂き、年間1株当たり18円の普通配当（うち、中間配当6円 期末配当12円）を予定しております。

期	年度	1株当たり配当金 (円)	純資産配当率 (%)	株価（期末終値） (円)
43期	2019.3	<b>16.00</b>	3.4	406
44期	2020.3	<b>16.00</b>	3.3	506
45期	2021.3	16.00	3.1	522
46期予想	2022.3	18.00	-	-

※ 単元株数は100株となっております。



# 環境保全活動、CSR活動等の実施

## 環境保全活動

### 第一ゼミエコ★プロジェクト

当社では、“「**世界の子ども**」と「**地球の未来**」を創る”をテーマとする「ペットボトルキャップ回収」に取り組んでおり、キャップの売却益が「世界の子どもにワクチンを日本委員会」へワクチン代として全額寄付されます。

キャップ回収 : 5,933,169個

ワクチン : 7,416人分

CO<sub>2</sub>削減 : 46,724Kg



- キャップ800個  
→ポリオワクチン1人分
- キャップ400個  
→3.15kgのCO<sub>2</sub>削減

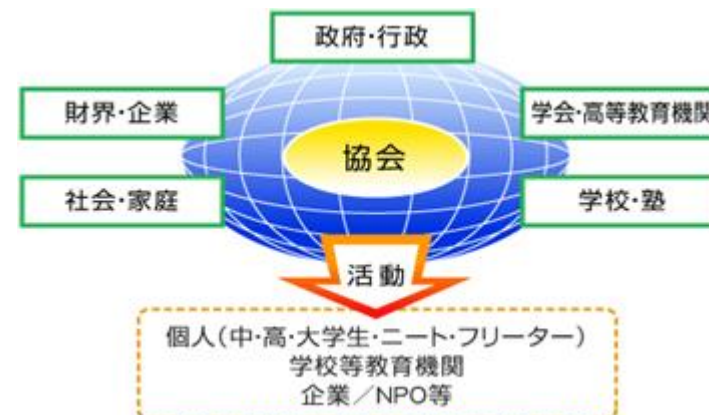
※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、回収しているキャップの集計を一時停止しております。上記報告数は2020年4月10日時点のものとなります。



## 社会貢献活動

### キャリア教育事業を通じた活動

青少年と行政・企業・教育機関等とのキャリアネットワーク形成を推進する「一般社団法人 共生と共育ネットワーク」の受託業務において、収益事業としてではなく社会貢献活動の一環と位置付け、全国の保護者・団体等への講演・相談会を行うと同時に、キャリア教育や情報リテラシー活用の研修などを推進しております。





**東証JASDAQ : 9696**

お問合せ先 株式会社ウィザス 経営戦略本部 経営戦略チーム

**【TEL】 06-6264-4205**

**【Mail】 [webmaster@with-us.co.jp](mailto:webmaster@with-us.co.jp)**

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。